2019年度 【児童デイサービスともいき】自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	所見、工夫している点など	保護者様からのご意見・ご要望
環境•体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			通所生活介護スペースも活用し対応していま す。	2019年10月から新体制での運営になっているが、旧体制からの利用家族への説明もお願いしたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	V			体校日の対応等は適宜調整をして利用者支援に不備が無いようにしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか	V			車イス利用者を想定した環境は整っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			施設内でQCサークル活動(改善活動)を実施しています。また、定期的に児童支援会議を実施し、状況把握にも努めています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	7			2018年度より実施しました。10月より新体制 に移行しましたので、新規利用者の意向も把 握し、今後の業務改善に活かしていきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	7			法人のホームページにて公開します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか			7	第3者機関からの評価は行っていませんが、 同法人で運営する療育センターと連携し、助 言を受けています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	V			児童分野のみならず幅広い研修体系・派遣 計画の中で内部・外部で実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			新規利用者が移行して来ていますが、前事 業所と連携をして作成を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		7		2019年度よりアセスメントシートを再作成し運 用しています。	
	11)	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか		7		個別·集団·行事を組み合わせて活動しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか		7		児童の特性を考慮し対応します。	新しい体制になって活動が増え良かったと のご意見あり。
適切な支援の提	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援しているか		7		定期的な会議や日々の業務の中で情報共有を行っています。	
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		7		児童の特性を把握しながら対応します。 年度途中での新体制への移行から、個別活動は充分とは言えません。	
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		V		14:30に申し送りを行い、情報共有をしています。 日々日報を作成し、記録での共有も図っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			終了時間が異なりますが、書面による記録化 により情報を共有しています。	
供	17)	日々の支援に関して正しく記録をとること を徹底し、支援の検証・改善につなげてい るか	>			児童支援日誌を毎日作成しています。 状況の把握と支援方法の検証・改善は児童 支援会議等でもを行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断し ているか	>				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っているか		7		ガイドラインの理解を深める取り組みを更に 深め、支援に活かしていきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画しているか	>			サービス担当者会議等が開催される場合 は、児童発達支援管理責任者が出席する 他、他の専門職とも協働していきます。	
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		7		連絡帳(ともいきノート)にて対応しています。 また、個々の重要課題等は学校と連絡を取り 情報共有を行っています。	
	22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			7	実績はありません。	
	23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		V		家族からの成育歴等の聞き取りはできていますが、関係機関からの情報は得られていません。 旧事業所から移行してきた児童に関しては前職員からの情報を共有していきます。	

88	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか	7			対象者がいる場合は、相談支援事業所と連携をし、サービス関係者会議等で引き継ぎを 行っています。	
関係機関や保護者との連携	25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか	\			法人内に地域療育センターがあり、必要に応 じ連携をすることが出来ています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	同法人に保育園がありますが、利用時間の 違いやニーズが少ないため実施していませ ん。	支援籍など学校での交流があるので、気疲 れしすぎない程度に楽しんでもらいたい。
	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 しているか	<			2019年度より川越市地域自立支援協議会こども部会へ児発管が委員として参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか	<			ともいきノートでの情報交換の他、送迎時や 保護者が迎えに来た際に密に行えていま す。サービス利用での来所児童については 不十分な点があります。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			V	現時点での要望はありません。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時の重要事項説明と併せて実施しています。	
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いるか	\			送迎時や保護者が迎えに来た際に行うよう 努めています。	
	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか			7	今後、家族参加行事を検討し、交流の増加を 目指していきます。	長期休業や年度末などに希望されている家 族も有り。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応しているか	7			要望苦情窓口の説明を行い、実際に声が挙 がった場合は速やかな対応体制が整ってい ます。	
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか		<		連絡帳(ともいきノート)を活用しての連絡体制のみ実施しており、保護者からの問い合わせにも迅速な対応を心がけています。	放課後利用以外のスケジュールや行事な どが前もってわかると助かるとの意見あり。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			同意書を取り交わし守秘義務に努めていま す。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	V			連絡帳の活用と、保護者来所時に状況確認・ 報告を実施しています。	
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っているか	7			法人全体の地域向け行事があります。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知しているか		7		障害者向けマニュアルは完備してあります。 保護者への周知は不十分な部分もありま す。	ご家族様からも理解が不十分であるとの回答を頂いている事から、マニュアルとの開示
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	<			施設での避難訓練は年4回実施しています。 実施時間の関係で児童の参加については不 十分です。	や対応についての周知に努めたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<			法人全体の取り組みとして実施しています。	
	41)	どのような場合にやむを得す身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<			身体拘束の対象児童はいませんが、やむを 得ない場合の対応についてのガイドラインは 法人にて整備しています。	
	42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			現時点で対象児童はいません。 栄養士と連携し、ニーズがあれば対応してい きます。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有しているか		7		常時事例が上がった場合は共有を図っています。報告のファイリングはできていますが、 事例集のような形での取りまとめはしていません。	
家族満足度	17)	お子様は通所を楽しみにされていますか?	\				
	18	事業所の支援に満足されていますか?	7			2019年度は引き継いだ事業所の体制に 準じて運営しているが、2020年度からは 本来の事業体制に戻すこととなる。	利用時間をもう少し長くとのご意見も頂いている。